

平成29年度 決算

元気な渥美半島を 目指して

平成29年度一般会計の歳入総額は、

前年度に比べ7.3%減の284億2410万円、歳出総額は、前年度に比べ5.7%減の277億2045万円となりました。実質収支額※は、5億1535万円の黒字でしたが、前年度に比べ5億4018万円減(51.2%減)となりました。

歳入 市税・普通交付税減少

市税は、16億3559万円減(9.6%減)の154億725万円となりました。主な要因は法人市民税で、前年度に比べ17億5224万円減(39.1%減)となりました。地方交付税は、合併算定替※の縮減などの要因により、6億94469万円減(26.5%減)の19億2513万円となりました。

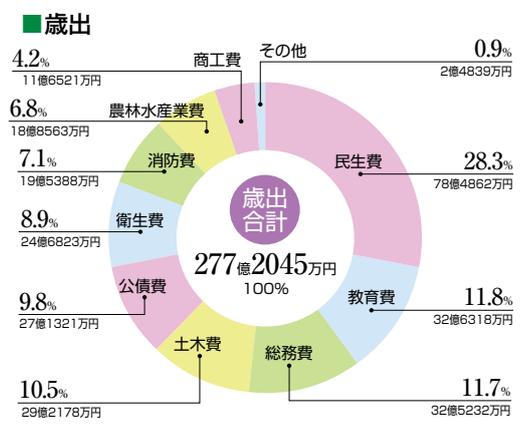
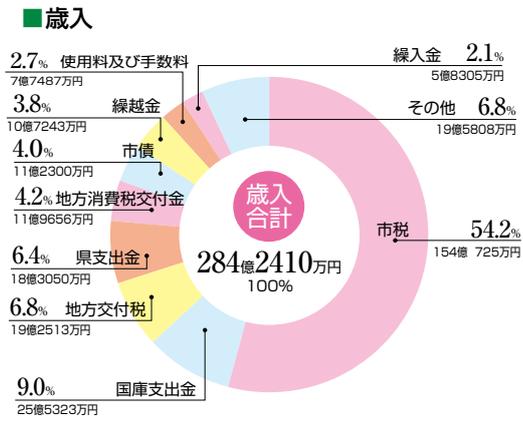
今後さらなる歳入減少が見込まれることから、財政調整基金※の取り崩し額を抑え、基金残高の確保を図りました。

歳出 重点施策を着実に実施

予算規模が縮小していく厳しい財政状況の中、長期的展望に立った行政サービスの再構築や財源の確保を図りながら、優先度の高い事業を厳選し、将来を見据えた前向きな地域づくりに向けた3つの重点施策を実施しました。特に平成29年度は、道の駅リニュー

アルや津波避難マウンド整備、地域医療体制を確保するための赤羽根診療所の整備などを行いました。

なお、一般会計と特別会計を合わせた歳入総額(水道事業を除く)は、458億8820万円(4.5%減)、歳出総額は442億532万円(3.7%減)となりました。



一般会計の歳入歳出決算

実施した重点施策の主な事業

【定住・移住促進、交流人口の拡大】定住・移住促進奨励金／道の駅リニューアル**【雇用創出】**企業立地奨励金／花き振興／農商工連携支援**【子育て支援】**初産妊婦全戸訪問／障害児等支援／小中学校施設整備**【地域の魅力・住み良さの向上】**赤羽根診療所整備／福江地区まちづくり**【安心・安全の推進】**津波避難マウンド整備／高齢者運転免許証自主返納支援**【将来に向けた創意工夫】**家庭系ごみ有料化



※【実質収支額】歳入歳出差引額から翌年度への繰越事業に充てる財源を控除した額。一年間の「損益」。

※【合併算定替】合併後15年間の普通交付税額が、3町が存続した場合の額を下回らないように保障する制度。11年目から段階的に引き下げられる。

※【財政調整基金】急激な収収の落ち込みや災害などに備えるための「貯金」。